

年間5トンの生ゴミを処理

「生ゴミ堆肥化容器」

購入家庭に補助

町では各家庭の生ゴミを有効活用するため、「生ゴミ堆肥化容器」を購入する家庭に補助をすることになりました。

この容器は年間約5トンの生ゴミを処理する能力があり、その生ゴミは良質の堆肥に変身するため、花壇や畑の肥料として使えます。

容器購入のための補助対象期間は、平成元年五月一日から八月三十一日までで、一世帯二基まで補助対象となります。また、容器の大きさは二種

類あります。

なお、平成元年九月一日以降購入された場合は補助がありません。




▲生ゴミ堆肥化容器 (コンポスター)

種類	価格	補助金	購入者負担金
190ℓ型	5,200円	2,000円	3,200円
230ℓ型	5,800円	2,300円	3,500円

使用方法

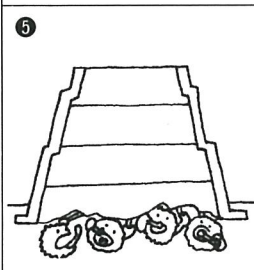
- 

日当りのよい土の上をよく耕して地中5cmくらい埋めて設置して下さい。
- 

台所の生ゴミ、有機質のゴミならなんでもコンポスターへ投入できます。くさらない金属・ガラス・プラスチック等は投入しないで下さい。
- 

台所の生ゴミはほとんどが水分です。水分は地中に吸収されますが多すぎる場合には枯葉、わら、ダンボール片、等を投入して下さい。
- 

生ゴミが20cmぐらいの厚さになりましたら土を2~3cmの厚さにかけて下さい。生ゴミの発酵を促進させます。

コンポスターはバラコンボ付ですので害虫の発生を防止できます
- 

土の中のバクテリアの動きにより有機質のゴミは発酵、分解し、遂次堆肥化されてゆきます。
- 

生ゴミがいっぱいになったら容器を引きあげて下部の黒く堆肥化した部分から使用し、未完熟の生ゴミは移設したコンポスターの中に再投入して下さい。

東陽小五年生 田植えに挑戦

体験学習



▲糸を張りていねいに植えました

五月八日東陽小五年生による田植えが行われました。体験服に身仕たくを整え田んぼに入り、泥に足をとられながら、先生の張った糸にあわせ苗を植えました。傍では、その姿を二年生がスケッチの手をとめ、「早く五年生になって、ぼくもやりたいナー」。の声がかれたり、この一角だけがにぎわいを見せていました。秋には、子供達の手で、稲刈りが行われる予定。収穫したお米の味は・・・?

